

した。その結果が今表れて来ているのだと思います。

このままいけば、やがては日本も女性一人で夜は歩けなくなるかも知れませんが、公衆トイレは汚くて使えなくなるかも知れません。どんな木でも水や栄養を与えてやらないと、毎年花を咲かせてはくれないと思うのです。

結局は自分の好きなように振舞えることが幸せ、何の制約も無く自由に行動出来るのが幸福、という考え方を見直さない限り、日本人が自信を取り戻す日は来ないような気がします。それを教えられるのは家庭なのだと思いません。



本堂前
沙羅の花が
咲いています



實相寺 花園會報

令和六年
六月一日発行
発行所
臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園會
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人
山本文匡
<https://www.jissouji.net>

第182号

お寺の掲示板

いはもあり
木のねもあれど

さらさらと
たださらさらと
水のながるる

甲斐和里子

甲斐和里子さんは明治元年に広島県福山市の真宗寺院の娘として生まれました。

父親も夫も共に浄土真宗の学僧でしたが、夫と共に女子教育に尽力され、現在の京都女子学園を創立されました。また多くの歌も詠まれ、この作品もその中の一つです。

人生には様々な困難がありますが、無心に生きることの大切さを教えてください。

「日本人が誇れるものとは？」

先日、たまたま妙心寺退蔵院の副住職、松山大耕師が出演しているビジネス動画を見ていたところ、
「今、日本が世界に誇れるものは何か？」が話題になっていました。

GDPもドイツに抜かれ、インドに抜かれるか判りませんし、最近はや安が進んで日本の給与水準の低さが目立っています（だからもうベトナムをはじめアジアの若者が日本にやって来るメリットも少ないのです）。

自信を失いつつある日本人が元氣を取り戻す為には、GDPに代わる日本にとって有利な指標が必要だ。それは何か？をテーマに---

NEヤフーの川邊会長や小泉進次郎議員、国民民主の伊藤たかえ議員と松山師という顔ぶれでの議論でしたが、その中で会場の参加者からこんな提案がありました。

「最近企業サービスのレベルを測る指標として顧客満足度調査に代わってNPSというものが広まっています。内容はシンプルで『貴方はこのサービスの家族や友人にお奨めしますか？』という質問に十段階で答えるものです。これを応用して国家版NPSを測定しては如何でしょうか？『貴方は自分の国に生まれることを、他の国の人にお薦めしたいですか？』を十段階で評価し、日本は1位を目指

すのです。」というものでした。

それを受け日本の世界に誇れるものとして「安心安全」や「綺麗なトイレ」、「食事が美味しい」等があると議論されていました。

「なるほどなあ」と感心したと共に、何故そうなっているか？ということには、誰も触れないことに違和感をおぼえました。つまり何もしないで日本が安全な訳でもないし、トイレが綺麗な訳でもないのです。そこには必ず理由がある筈です。それを考えるべきです。

紙幅の都合もありますので端折りますが、つまりはそういう教育をしてきたと言っことでしょう。現在の日本は、過去の日本の遺産

です。かつての日本人は「他人に迷惑をかけること」や「他人を思いやること」を美德とし、「人の役に立つ人間になること」を子供達に教育してきました。

今はどうか？例を挙げればキリがありませんが、夏休みの自由席新幹線に乗れば一目瞭然、周囲の迷惑などお構いなしの子供連れが目につきます。自分勝手なのは若年層だけではありません。戦後世代から、日本人の考え方が大きく変わったと思います。

昔は全て良かったなど言うつもりは毛頭ありませんが、高度成長期以後は子育てや親の介護などを外部に委託して夫婦共働きしま